

「話すこと・聞くこと」領域における授業実践例

① 学年・単元名 第4学年「役わりをいしきしながら話し合おう」

② 単元のねらい

◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思A(1)オ)

○目的を意識して、日常生活の中から議題を決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思A(1)ア)

○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解して使うことができる。(知A(2)イ)

③ 指導の工夫

【単元に位置付ける言語活動】

「よりよい話し合い」のしかたについて考え、役割を意識しながらクラス全体で話し合っただけで考えをまとめる。

第1次 議題を児童が話し合いたいと思えるもの(社会見学バスレク、なかよし学級遊び)に設定した。

第2次 学級で目指す話し合いの姿を「役割を果たす」、「比べて発言する」の2つにしぼり、共通理解した。

第3次 話し合い活動を行った。その様子を撮影した動画を全体や個人で視聴して振り返り、良さや改善点を見つけ、さらによりよい話し合いを目指した。

④ 活用したツール

動画編集:  タブレット端末(iPad)の iMovie を利用し、話し合い活動を撮影した動画を場面ごとに5分以内でまとめた。どの場面の動画なのかすぐに分かるように冒頭にタイトルを付けた。(写真①)

動画視聴: 話し合い活動の動画を再生するために、次の3つを活用した。

1  icloud の共有ファイル

2  Google ドライブの共有ファイル(写真②)

3  teams で動画を添付して児童に送信

いくつかの動画視聴30名の児童が一斉に動画を再生すると、動画がうまく再生されないため、再生ができるいくつかのツールが必要であった。

⑤ 実践内容

(1) 話し合い活動を振り返る場面

話し合い活動の様子を動画で撮影したものを場面に分けてタイトルを付け編集した。児童は、必要な場面を選び視聴した。児童は、自分が発言した場面、意見が変わるきっかけとなった仲間の発言、質問があった場面などを選択し、良さや改善点を見つけることができた。個人で動画を視聴できるため、自分が見たい場面を繰り返し見ることができた。グループで見つけた良さや改善点を交流するときも、動画を見せながら、この話し方がよかった、など根拠をもって話げできた。

(2) これまでの授業を振り返る場面

毎時間の板書を共有ファイルに保存し、いつでも振り返ることができるようにした。児童は、話し合い活動で大切なこと、それぞれの役割で行うことなど、板書を見て振り返り、話し合い活動を行うための手立てとして有効であった。(写真③)

⑥ 成果と課題(実践する時の留意点など)

○タブレット端末を活用することで、どの児童も自分の見たい動画を選択し、繰り返し視聴することができた。それにより、自分や仲間の話し方や、内容を客観的に振り返ることができた。

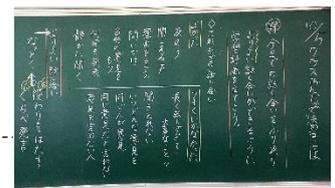
△話し合い活動の振り返りでは、児童に話し合いでの発言のつながり(内容)に目を向けさせたかった。動画を視聴すると、話し方の技法ばかりに目が行き、話し方の振り返りの感想に偏ってしまった。振り返りで動画を活用する場合には、振り返る視点をより明確にして示すことが必要である。



写真① タイトルを入れた動画



写真② Google ドライブ 共有ファイル



写真③ 前時の板書